



2019年7月12日

日本鉄道労働組合連合会

J R 西 労 組 第 3 1 回 定 期 中 央 本 部 大 会 開 催

上村委員長体制を確立、魅力と求心力あるJR西労組を築く！

J R 西 労 組 は、7 月 9 ～ 11 日、松 江 市 の「ホ テ ル 一 畑」に お い て、「創 造 ・ 参 加 ・ 実 践 原 点 に 立 ち 返 り、安 全 の 向 上 と 組 織 の 強 化 を 図 り、魅 力 と 求 心 力 の あ る J R 西 労 組 を 築 こ う !」を メ イ ン ス ロ ー ガ ン に 掲 げ、第 31 回 定 期 中 央 本 部 大 会 を 開 催 し た。大 雨 に よ る 伯 備 線 運 転 休 止 の 影 響 も あ り、日 程 を 短 縮 し た ス ケ ジ ュ ー ル と な っ た が、代 議 員、特 別 代 議 員、お よ び 傍 聴 者 等 の 総 勢 約 500 人 超 の 組 合 員 が 出 席 し、2019 年 度 の 運 動 方 針 を 満 場 一 致 で 決 定 し た。

ま た、大 会 に 併 せ て「J R を 活 か し た 山 陰 地 域 の 持 続 的 な 進 行 に む け て」と 題 し た パ ネ ル デ ィ ス カ ッ シ ョ ン が 松 浦 松 江 市 長、久 保 田 山 陰 合 同 銀 行 会 長、高 須 島 根 大 学 地 域 人 材 育 成 マ ネ ジ ャ ー、牧 原 J R 米 子 支 社 長、廣 澤 J R 西 労 組 米 子 地 本 委 員 長 の 参 加 に よ り 開 催 さ れ た。議 論 の 中 で は 観 光 列 車「瑞 風」「あ め つ ち」が 山 陰 地 域 に も た ら す 波 及 効 果 が 確 認 で き た 他、二 次 交 通 へ の I C カ ー ド 導 入、高 速 鉄 道 網 の 整 備、鉄 道 の 強 靱 化 な ど、J R に 対 す る 期 待 と 要 望 意 見 が 発 せ ら れ た。

大 会 で は、執 行 部 を 代 表 し て 荻 山 執 行 委 員 長 が 挨拶 に 立 ち、「忘 れ て は な ら な い 運 動 の 原 点 は、国 鉄 改 革 と 福 知 山 線 列 車 事 故 で あ る。そ れ ら 大 き な 課 題 を 乗 り 越 え る べ く 先 人 先 輩 が J R 西 労 組 運 動 を 推 進 し、今 や 組 織 率 は 95% に 及 ぶ。今 後 も 各 課 題 に 対 し て 企 画 提 案 運 動 に 取 り 組 み、魅 力 と 求 心 力 の あ る J R 西 労 組 を 築 こ う !」と 力 強 く 訴 え た。ま た、大 会 質 疑 で は、本 会 議 15 人、組 織 ・ 財 政 小 委 員 会 40 人、業 務 小 委 員 会 46 人 か ら そ れ ぞ れ 運 動 方 針 を 補 強 す る 発 言 が あ っ た。

さ ら に、大 会 懇 親 会 で は、丸 山 島 根 県 知 事、平 井 鳥 取 県 知 事、来 島 J R 西 日 本 社 長 を は じ め 多 く の ご 来 賓 か ら ご 祝 辞 を い た だ いた。

役 員 改 選 で は、長 年 に 亘 り J R 西 労 組 を 牽 引 し て き た 荻 山 委 員 長、里 内 副 委 員 長、城 副 委 員 長 ら が 退 任 し、新 た に 上 村 委 員 長、本 田 副 委 員 長、松 原 副 委 員 長、白 壁 副 委 員 長、羽 野 書 記 長 を 三 役 に 据 え た 新 体 制 を 確 立 し た。

旅客鉄道労働組合「第31回定期中央大会

